

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	地域連携介護支援システムの開発と外部検証
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者 (個人情報管理者)	(愛媛大学大学院医学系研究科薬理学) (教授) (茂木正樹)
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日
対象となる方	在宅医療または介護サービスの利用歴がある者 (2023 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	この研究は、在宅医療や介護を受けている方への支援をより分かりやすく整理し、医療・介護に関わる担当者の負担を軽くするための研究です。 現在、医療や介護の現場では、病気のこと、薬のこと、生活の様子、介護の状況、ご家族からの相談内容など、多くの情報を確認しながら支援内容を考えています。本研究では、これまでの診療記録や介護記録、ケアプランなどの情報をもとに、AI を使って「支援で注意すべき点」や「ケアの目標」「ケアプランの下書き」が適切に作成できるかを確認します。 この研究では、新しい治療や介護サービスを行うものではありません。また、AI が作成した内容をそのまま実際のケアに使うことはなく、必ず医療・介護の専門職が確認します。

	研究に使う情報は、氏名、住所、電話番号など、個人が直接分かる情報を除いたうえで取り扱います。研究結果は、個人が特定されない形でまとめ、今後の医療・介護連携やケア支援システムの改善に役立てます。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部薬理学 茂木正樹 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5260

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	(愛媛大学大学院医学系研究科) (教授) (茂木正樹)
試料・情報を提供するだけの機関	(愛媛生協病院 副院長) (原穂高) (たんぽぽ在宅ケアセンター 院長) (松田清美)